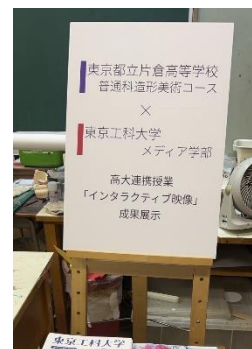


造形美術コース

東京工科大学メディア学部と高大連携授業 実施報告

造形美術コース 美術Ⅱ（映像）の東京工科大学メディア学部との連携授業（今年度5月より実施）の成果発表展示が本校文化祭「星樹祭」（9月12日、13日）と東京工科大学八王子キャンパス学園祭「紅華祭」（10月12日、13日）で行なわれました。紅華祭での展示は、東京工科大学メディア学部の学生作品との合同展示でした。



この課題は、光や音、温度などで反応するセンサーを利用して、光を当てるなどのアクションに応じて映像が変化するという一種のメディアアートと言える『インタラクティブ映像』という課題です。3年造形美術コースの生徒12名にとってプログラミングを扱うなどハードルの高い課題でしたが、東京工科大学の先生や学生にサポートしていただき、ハイスクールDXで購入したMacBook Proを活用し、それぞれのやりたいことが実現できたと思います。

○「星樹祭」の様子

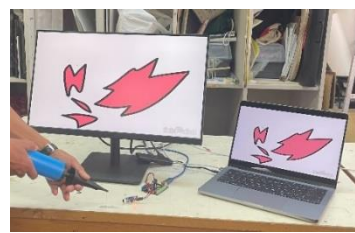
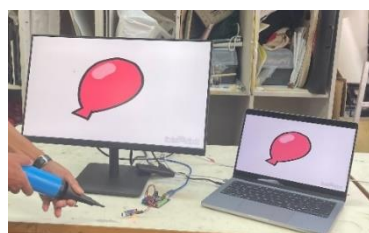
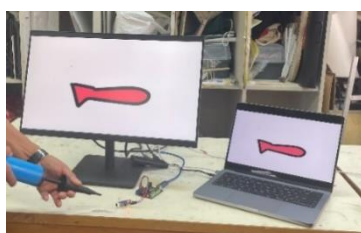
1、カブをモチーフとした作品

机上のカブを抜くと、映像のカブも抜かれ、普通のカブ、金のカブ、傷んだカブの3種類の映像作品が出現するアイデアで、来場者を驚かせていました。



2、風船をモチーフとした作品

空気入れからセンサーに風を当てると、風船がどんどんと膨らんで破裂するというユニークな作品



他にも、様々なアイデアが生まれました。



○東京工科大学「紅華祭」の様子

